

大学院1年次			大学院2年次			
必修科目	教職概論 [2]	特別支援教育論[1]	教育実習指導(直前・事後) [1]	教育実習1[2]	教育実習2[2]	
	教育原理[2]	発達と教育の心理学[2]	教育実習指導(事前) [0]	教職実践演習(中・高)[2]		
	総合的な学習（探究）の時間の指導法[1]、教育と社会[2]、特別活動・進路指導[2]、道德教育[2]、生徒指導論[2]、教育相談の理論と方法[2]、教育課程編成論[1]、教育工学（ICTの活用含む）[2]					
	数学免許の場合	数学科教育論1・2[各2]				
		数学科指導法1・2[各2]				
	理科免許の場合	理科教育論1・2[各2]				
		理科指導法1・2[各2]				
	める省文 る令部 科目で科学	「日本国憲法」[2]、「体育」[2]、「外国語コミュニケーション」[2]、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」[2]				
	選択科目	教育心理学特論[2]、教育実習指導演習[1]、学校インターンシップ[1]、教職パフォーマンス演習[1]、教育課題演習[2]				
		教科に関する専門的事項 [20以上]				
大学が独自に設定する科目 [24以上] (数学科探究学習論[2]、理科探究学習論[2]、教授メディア学習論[1]、学校インターンシップ（アドバンス）[1]及び各研究科専攻、専攻科で定める科目)						
その他						

[] 内の数字は単位数

※中学校免許取得のためには介護等の体験を行う必要であり、介護等の体験を行うには、「教職概論」「特別支援教育論」の単位修得が前提条件となる。

なお、「教育実習1」「教育実習2」を履修する年度と同一年度に介護等体験を行うことはできない。

※単位の修得状況によっては、3年間かかる可能性もあるため、予め教職教育センターまで相談すること。

■2025年度入学生向け教職課程履修者の履修モデル(中学・高校一種免許を取得済で、中学・高校専修免許を取得する場合)

大学院1年次		大学院2年次	
その他		大学が独自に設定する科目 [24以上] (数学科探究学習論[2]、理科教諭探究学習論[2]、教授メディア学習論[1]、学校インターンシップ（アドバンス）[1]及び各研究科専攻、専攻科で定める科目)	